

前腕骨遠位端部骨折

- ① ア. コーレス骨折とは、1) 橈骨のどの部の、2) 何型の、骨折か。

イ. アの骨折の好発外力は何か。

ウ. イの具体的な外力の加わり方として、手掌を衝いて転倒した際に、1) 橈骨遠位端部に受ける何圧と、2) 手関節を含んで強度の何力が、強制されるのか。

エ. ウによって、1) 橈骨遠位端部にどのような力が働いて、2) 手関節からどの位離れた部分で骨折するのか。

オ. エの際に、前腕遠位部にはどのような力が加わるか。

- ② ア. コーレス骨折の牽引直圧整復法では、どの位の程度の転位の骨折を対象とするか。

イ. 同じく、術者は両手の、1) 母指、2) 他四指、をそれぞれ患者の前腕のどの側に当てがうか。

ウ. イの状態の手根部とともに遠位骨片を把握し、前腕をどのような肢位にして末梢牽引をするか。

エ. ウによって、どのような転位が除去されるか。3つ述べよ。

オ. エに続いて、1) 両示指で近位骨片をどの方向からどの方向へ、2) 同時に両母指で遠位骨片をどの方向からどの方向へ、直圧して整復するか。

- 1)遠位端部
2)伸展型

介達外力

- 1)長軸圧
2)伸展(背屈)力

- 1)掌側凸の屈曲力
2)1～3 cm近位の部分

過度回外の捻転力

転位軽度の骨折

- 1)背側
2)掌側

回内位

- 1)捻転転位
2)前額面内の側方転位
3)短縮転位

- 1)掌側から背側へ
2)背側から掌側へ

- ③ ア. コーレス骨折の屈曲整復法では、どの位の程度の転位の骨折を対象とするか。

イ. 同じく、術者は両手の、1) 母指、2) 他四指、をそれぞれ患者の前腕のどの側に当てがうか。

ウ. イの状態で手根部とともに遠位骨片を把握し、前腕をどのような肢位にして末梢牽引をするか。

エ. ウの際に、軽く1) 橈側から何骨片、2) 尺側から何骨片、に圧迫を加えるか。

オ. エによって、何転位を除去するのか。それぞれ述べよ。

カ. エに続いて、遠位骨片に手とともにどのような運動方向を強制するか。

キ. カの肢位のまま両母指で遠位骨片端をどの方向に圧迫するか。

ク. キによって遠位骨片はどうか。

ケ. カの後、遠位骨片端背側が近位骨片端背側に適合したところで、手を含み遠位骨片をどの運動方向へ動かすか。

コ. ケと同時に、1) どの側から遠位骨片を圧迫して、2) 何転位を整復するか。

- ④ コーレス骨折の、1) 肘関節、2) 前腕、3) 4) 手関節、の固定肢位をそれぞれ述べよ。

- ⑤ コーレス骨折の固定範囲を述べよ。

転位高度な骨折

- 1)背側
2)掌側

回内位

- 1)遠位骨片
2)近位骨片

- 1)捻転転位
2)前額面内の側方転位

過伸展

前腕長軸末梢方向
近位骨片の骨折端に近づく

掌屈

- 1)背側
2)背側転位

- 1)直角位
2)回内位
3)軽度屈曲位(掌屈位)
4)軽度尺屈位

肘関節を含みMP

- ⑥ ア. コーレス骨折の固定期間を述べよ。
イ. アにおいて、とくに再転位に留意する期間を述べよ。
ウ. 同じく、約2週過ぎから固定肢位をどのような肢位に近づけてゆくか。
- ⑦ コーレス骨折に合併する骨折にはどのようなものがあるか。2つ挙げよ。
- ⑧ コーレス骨折に合併する脱臼にはどのようなものがあるか。2つ挙げよ。
- ⑨ コーレス骨折における拘縮はとくに高齢者ではどの部位に発生しやすいか。
- ⑩ コーレス骨折における外傷性関節炎はどの部位に発生しやすいか。
- ⑪ コーレス骨折における成長障害は何の損傷によるか。
- ⑫ コーレス骨折における神経麻痺は何神経に発生しやすいか。3つ挙げよ。
- ⑬ コーレス骨折における回旋障害はどの部位に発生しやすいか。
- ⑭ コーレス骨折における交感神経の障害にはどのようなものがあるか。

関節の手前まで

4～5週間

受傷後1週間

良肢位

- 1) 尺骨遠位端部骨折(尺骨茎状突起骨折)
- 2) 手根骨骨折(舟状骨骨折)

- 1) 遠位橈尺関節脱臼(不全脱臼含む)
- 2) 月状骨脱臼

指・手・肘・肩関節

手関節

橈骨遠位端骨端成長軟骨板

- 1) 橈骨神経
- 2) 尺骨神経
- 3) 正中神経

前腕

反射性交感神経性ジストロフィー(ズデック骨委縮

- ⑮ ア. コーレス骨折における腱断裂はどの腱に発生しやすいか。
イ. コーレス骨折における症候群にはどのようなものがあるか。
ウ. 同じく、関節の形状の支障は何か。
- ⑯ スミス骨折とは、1) 橈骨のどの部の、2) 何型の、骨折か。

- ⑰ ア. スミス骨折の好発外力は何か。
イ. アの具体的な外力の加わり方として、1) 手のどの部位を衝いて転倒した際に、2) 橈骨遠位端部にどのような力が働くのか。

ウ. イのほかに、コーレス骨折と同様の手の衝き方で前腕遠位部にどのような捻転力が加わった際にはスミス骨折となりやすいか。

- ⑱ コーレス骨折と比較してスミス骨折の発生頻度はどの程度か。

- ⑲ ア. スミス骨折の牽引直圧整復法では、どの位の程度の転位の骨折を対象とするか。
イ. 同じく、術者は両手の、1) 母指、2) 他四指、をそれぞれ患者の前腕のどの側に当てがうか。

ウ. イの状態で手根部とともに遠位骨片を把握し、前腕をどのような肢位にして末梢牽引をするか。
エ. ウによって、どのような転位が除去されるか。3つ挙げよ。

オ. エに続いて、1) 両示指で近位骨片をどの方向か

を含む)

長母指伸筋腱

手根管症候群
変形治療

- 1) 遠位端部
 - 2) 屈曲型
- *逆コーレス骨折ともいわれる

介達外力

- 1) 手背部
- 2) 背側凸の屈曲力

過度回内の捻転力

まれ

転位軽度の骨折

- 1) 掌側
- 2) 背側

回外位

- 1) 捻転転位
- 2) 前顔面内の側方転位
- 3) 短縮転位

らどの方向へ、2)同時に両母指で遠位骨片をどの方向からどの方向へ、直圧して整復するか。

カ. オで両母指で遠位骨片に圧迫を加える際には何の損傷に注意すべきか。

20) スミス骨折の、1)肘関節、2)前腕、3)4)手関節、の固定肢位をそれぞれ述べよ。

21) スミス骨折の固定範囲を述べよ。

22) スミス骨折の固定期間を述べよ。

23) コーレス骨折とスミス骨折の症状における下表に適する語句を入れなさい。

	コーレス骨折	スミス骨折
骨折線の走行 (どの部位から斜めにどの部位へ走るか)	前額面内 1) 矢状面内 2)	3)
遠位骨片の転位	4) ※4つ挙げよ	5) ※4つ挙げよ
患部の特徴的な変形 *遠位骨片の転位のため、骨折部の厚さと幅が著しく増大する	6) ※2つ挙げよ	7) ※2つ挙げよ
腫脹の特徴	8)	
疼痛の特徴		
自発痛	9)	
限局性圧痛	10)	
介達痛	11)	
機能障害	12) ※4つ挙げよ	

- 1)背側から掌側へ
- 2)掌側から背側へ

橈骨動脈

- 1)直角位
- 2)回外位
- 3)軽度伸展位
(背屈位)
- 4)軽度尺屈位

肘関節を含みMP関節の手前まで

4～5週間

- 1)橈側近位から尺骨遠位へ
- 2)手関節の1～3cm近位の掌側から背側近位へ
- 3)手関節の1～3cm近位の背側から掌側近位へ
- 4)背側転位、橈側転位、短縮転位、捻転転位
- 5)掌側転位、橈側転位、短縮転位、捻転転位
- 6)フォーク状変形、銃剣状変形
- 7)背側凸変形、鋤状変形
- 8)著明
*受傷数時間後には手指にまで出現
- 9)激甚でない

ア. 6の変形は、それぞれどのような転位が高度になった際に呈するのか。2つ挙げよ。

イ. 6の変形の中で、前腕に典型的な急峻な背側の突出、なだらかな円形の掌側突出の変形を呈するのはどれか。

ウ. 6の変形の中で、前腕に典型的な手関節の横径の増大、手の橈側偏位の変形を呈するのはどれか。

エ. 7の変形の中で、掌側転位が高度になり呈するのはどれか。

24) 橈骨遠位骨端線離開では、どのような障害のおそれがあるか。

25) ア. 橈骨遠位骨端線離開は、幼小児に成人の何骨折と同じ発生機序でおこるか。

イ. アの発生機序では、ときに何を損傷するか。

26) ア. 橈骨遠位骨端線離開はソルターハリスの分類の何型に属するものが大部分か。

イ. アでは、遠位骨片がどの側へ転位するものが大部分か。

27) ア. 橈骨遠位骨端線離開の整復では、前腕をどのような肢位ににして末梢牽引を行うか。

イ. 同じく、1)手関節をどのような運動方向にしながら、2)遠位骨片をどの側から圧迫して整復するか。

- 10)明瞭
- 11)明瞭
- 12)前腕回外、手で物を握る、第1指と第2指で摘む、手関節運動

- 1)フォーク状変形：背側転位
- 2)銃剣状変形：橈側転位

フォーク状変形

銃剣状変形

鋤状変形

骨端線の早期閉鎖による成長障害

コーレス骨折
成長軟骨

I型およびII型

背側

回内位

- 1)屈曲(掌屈)
- 2)背側

ウ. どのような整復によって、まれに骨端線の早期閉鎖による成長障害の障害を起こすことがあるか。

- 28 橈骨遠位骨端線離開の固定は、1) 何骨折に準じて、2) どのくらいの期間、行うか。

- 29 ア. パートン骨折は、どのような介達外力で発生するか。

イ. アの際に、どの部位とどの部位が衝突するのか。

ウ. イによって、骨折線がどのように出現するのか。

- 30 掌側パートン骨折では、1) 遠位骨片は手根部とともにどの側に転位し、2) 橈骨手根関節はどのようになるか。

- 31 掌側パートン骨折の整復では、1) 前腕をどの肢位で末梢牽引し、2) 手関節をどの運動方向へ動かすと共に、3) どの側からどの側へ遠位骨片を圧迫して、整復するか。

- 32 掌側パートン骨折の固定では、1) 肘関節、2) 前腕、3) 手関節、をそれぞれどのような肢位にするか。

- 33 掌側パートン骨折の固定範囲はどうなるか。

- 34 掌側パートン骨折の固定期間はどのくらいか。

- 35 背側パートン骨折では、1) 遠位骨片は手根部とともにどの側に転位し、2) 橈骨手根関節はどのようになるか。

暴力的整復や繰り返して行う整復

- 1) コーレス骨折
2) 3～4週間

手を衝いて倒れた際

橈骨遠位端と手根骨

橈骨関節面に及ぶ

- 1) 掌側
2) 不全脱臼する

- 1) 回内回外中間位
2) 屈曲(掌屈)
3) 掌側から背側へ

- 1) 直角位
2) 回内回外中間位
3) 軽度屈曲位(掌屈位)

肘関節を含みMP関節の手前まで

5～6週間

1) 背側

- 36 背側パートン骨折の整復では、1) 前腕をどの肢位で末梢牽引し、2) 手関節をどの運動方向へ動かすと共に、3) どの側からどの側へ遠位骨片を圧迫して、整復するか。

- 37 背側パートン骨折の固定では、1) 肘関節、2) 前腕、3) 手関節、をそれぞれどのような肢位にするか。

- 38 掌側パートン骨折の固定範囲はどうなるか。

- 39 掌側パートン骨折の固定期間はどのくらいか。

- 40 ショウファー骨折は、1) 手関節に急激などのような運動方向を強制されると発生する、2) どの部位の骨折か。

- 41 ショウファー骨折は、解剖学的整復を行わないと、どのような合併症を続発するか。

- 42 ショウファー骨折の徒手整復は、1) 橈骨のどの部位を支点として、2) 手関節をどのような運動方向にし、3) 橈側側副靭帯をどのような状態にさせ、整復するのか。

- 43 ショウファー骨折の固定での手関節の肢位は何か。

- 44 ショウファー骨折の固定期間はどのくらいか。

- 45 ショウファー骨折は、どのような疾患と鑑別を要すか。

2) 不全脱臼する

- 1) 回外位
2) 伸展(背屈)
3) 背側から掌側へ

- 1) 直角位
2) 回外位
3) 軽度伸展位(背屈位)

肘関節を含みMP関節の手前まで

5～6週間

- 1) 橈屈
2) 橈骨莖状突起
* 関節内骨折である

変形性関節症

- 1) 月状骨関節面
2) 尺屈
3) 緊張

尺屈位

4～5週間

(手) 舟状骨骨折